

やすだ のぼる
安田 登
 能楽師（下掛宝生流：ワキ方）
 寺子屋 講師 （阿弥陀寺）
 こどもおばけ合宿 講師 //

主著に『論語』『あわいの時代』『あわいの時代の『論語』ヒューマン2.0』
 『能 650年続いた仕掛けとは』他多数。

こままたとき 親鸞聖人の 鳥



イラスト 中川 学

先日、熊本県立劇場で「能でよむく漱石と八雲」という公演を行いました。阿弥陀寺さんの「語りの会」でお馴染みの浪曲の玉川奈々福さんや、1000分de名著で一緒に、

「飲み会は楽しい！」

お寺でも一緒に演奏した琵琶の塩高和之さんも一緒にです。木ノ下歌舞伎主宰の木ノ下裕一さんとのトークもありました。演目は、夏目漱石の『夢十夜（第一夜）』と『吾輩は猫である（鼠の段）』、そして小泉八雲の『破られた約束』でした。小泉八雲といえば『耳なし芳一』や『雪女』が有名

ですが、この『破られた約束』は、小泉八雲のひ孫の小泉凡さんに「八雲の作品で一番怖いのはなんですか」とお尋ねしたら教えてくださった作品です。今度、阿弥陀寺さんでも上演しますね。じわじわくる怖さの怪談ですが、それはともかく…公演後に、久しぶりに阿弥陀寺さんにお邪魔しました。

コロナ禍になってから寺子屋もできていませんし、玉川奈々福さんとの語りの会もできていません。子どもたちの合宿もです。久しぶりの阿弥陀寺でした。むろん、玉川奈々福さん、塩高和之さんも一緒にです。本当に本当に本当に久しぶりに飲み会になりました。これ

楽しんで、楽しんで、楽しんで、こんな楽しさ、忘れていたなあと思いました。公演の中のトークで、私が「蟹が好きだ」と言っていたのを聞きに

なり、ご門徒の方がわざわざ蟹しゅうまいを阿弥陀寺さんまでお持ちいただいたりして、これがまた大感激です。気のおけない方たちと楽しく飲み明かす、これほど楽しいことはありません。みんなで極楽に行こう

私はまだ六十五歳ですが、亡くなった友人がずいぶんいます。否が応にも「死」について考えるようになります。死ぬの何がイヤかという、やはり仲のいい人たちと会えなくなることです。聖典やお経に書かれる天国や極楽は苦しみのない安楽世界です。食事だつて、飲み物だつて満ち足りている。悪い人もいない。そりゃあいいところですよ。もし、運よく天国や極楽に行くことができます。誰も知り合いない。だから地獄の方がいい、

